

東 東 明

令和7年2月1日発行
男鹿市立男鹿東中学校
校長 鳥井 雅則
第10号

春を待ち焦がれて……

2025年が始まってから、早いもので1か月が過ぎました。2月3日（例年は4日）は「春が立つ」と書いて、春の季節の始まりとされる「立春」と言われる日です。旧暦では、この頃が一年の始まりとされていました。江戸時代頃からは、毎年立春の前日を「節分」（今年は2日）と言うようになったそうです。節分の行事は「鬼は外、福は内」と大きな声で福豆をまき、年の数より1つ多い数（または年の数）だけ豆を食べる風習があります。また、邪気除けとして、柊（ひいらぎいわし）という柊の小枝と焼いた鯛の頭を門口に挿す家もあります。季節の変わり目は邪気が入りやすいと言われ、それを除けるために豆まきをしたり飾りを付けたりしたそうです。最近は、幸運を招く方角を向いて、黙って太巻きを丸かじりする風習「恵方巻き」も人気になっています。風習は地域によっても違いがあるようですが、長く厳しい冬が間もなく一段落すると予想されます。北国に住む私たちにとって、春は待ち焦がれる季節です。節分は春を待つ行事であり、その気持ちは今も昔も変わりありません。皆さんは春をどのような気持ちで迎えるでしょうか。節分を通して、心の中に住む悪い鬼は「鬼は外」で追い出し、新鮮な気持ちで春を迎えたいものです。



新年の抱負

新年の抱負として、全校で「2025年わたしの誓い」を立てました。いくつか紹介します。すてきな一年になることを期待しています。

挑 楽 努 新 続 強
 勉 力 決 笑 頑 寸 強
 合 戦 協 時 昇 芽 勝 躍 夢
 誠

《決意を漢字1字で》

3年生

「中学最後のテストで最高点数をとる」「志望校合格」「卒業まで思い出づくり」「文武両道の質を高める」「友達といっぱい話す」「受験勉強から逃げない」「平日5時間、休日9時間勉強」「受験の雰囲気染まりきって合格」「高校ラグビーに向けて筋トレ開始」「学習でくじけず、眠気と戦う」「高校で弓道部に入る」「基礎を忘れない」「1年生からスタメンに入る」「高校でたくさん友達をつくる」「就寝1時間前にはスマホを見ない」「常に成長、常に努力」「英語をとことん伸ばす」「応用問題にたくさん挑戦する」

1年生

「苦手な数学と英語を頑張る」「新しい友達をつくりたい」「ボランティアに参加したい」「腕立て伏せを最低30回」「平和主義を目標に過ごしたい」「困っている人を助ける」「不適切な発言や行動がないようにする」「言葉遣いに気を付ける」「英検、漢検、数検を受ける」「若竹を毎日提出する」「メロンマラソンに出たい」「授業で手を挙げることを意識する」「人ともっと関わる自分になる」「絵を描くことに挑戦」「大きな声で発言する」「自分の意見を進んで発表する」

2年生

「英検+数検にチャレンジ」「みんなで協力・団結」「定期テストで400点以上を目指す」「何事にもチャレンジする」「地区大会・県大会優勝」「相手に失礼がないように笑顔で接する」「後輩を引っ張る」「新入部員をたくさん増やす」「平日70分、休日120分以上の家庭学習」「夏の総体で全県に出たい」「自分から話し掛ける」「修学旅行があるから学年で団結」「敵は増やさず仲を深める」「手順や公式を繰り返し覚える」「体を大きくする」「勉強法を変えて点数upを目指す」「他のクラスの人たちとも交流を深める」「ペアと一緒に全県出場」「運動会や東中祭を頑張る」

◎年明けから、県内でもインフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症の罹患が増加しています。マスク着用や手洗い、うがい等、外出する際の感染予防を各自でお願いします。



船越公民館 昔遊びボランティア活動から